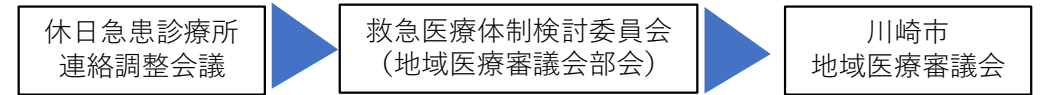


1 背景及び経緯

- 休日(夜間)急患診療所は、市民の休日(夜間)における**初期救急医療を担う施設として、各区に1か所設置**されています。
- 平成17年度の地域医療審議会では、「当面1区1診療所を維持しながらも将来的には再編整備を検討する」との方向性を示しています。
- 平成29年度からは、公益社団法人**川崎市医師会の自主事業**として運営されており、相互に連携を図りながら体制の確保に努めています。
- 休日(夜間)急患診療所に勤務する医療従事者は、市医師会、市薬剤師会、市看護協会の協力のもと人員を確保しています。

- 医師の働き方改革など**医療を取り巻く環境の変化や、市民の受療行動の変化に加え、施設の老朽化といった課題**が生じています。
- 行財政改革プログラムでは、設置箇所数や運営手法のあり方等について検討**することとしています。
- このような状況を踏まえ、診療所の今後の方向性に係る全体方針について、**市医師会や市病院協会等の関係者と議論**を重ね、取りまとめました。



(1)各区休日急患診療所の施設の概要

多摩 (築29年)
(多摩区登戸1775-1)
小田急向ヶ丘遊園駅徒歩5分
多摩区役所合築
駐車場 区役所利用

高津 (築46年)
(高津区溝口5-15-5)
東急高津駅徒歩10分
駐車場 10台

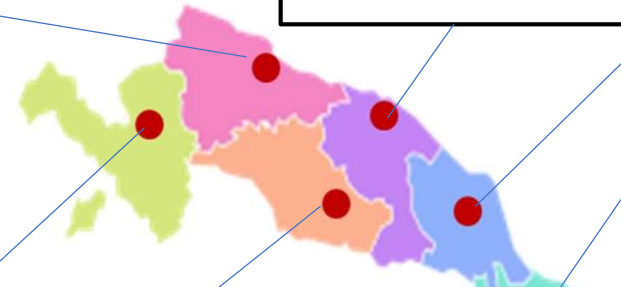
中原 (築8年)
(中原区小杉町3-26-7)
武蔵小杉駅徒歩5分
川崎市医師会館内
駐車場 会館・区役所利用

麻生 (築41年)
(麻生区万福寺1-5-3)
小田急新百合ヶ丘駅徒歩3分
駐車場 区役所利用

宮前 (築41年)
(宮前区東有馬2-13-3)
東急鷺沼駅よりバス
駐車場 10台

幸 (築49年)
(幸区戸手2-12-12)
川崎駅よりバス(徒歩20分)
駐車場 6台

川崎 (築45年)
(川崎区富士見1-1-1)
川崎駅よりバス(徒歩15分)
駐車場 2台



- 診療日
日曜日・祝日・年末年始
多摩のみ毎夜間
- 診療科目:内科・小児科
- 受付時間
9:00~11:30、
13:00~16:00
多摩のみ18:30~22:30(内科)
18:30~翌5:30(小児科)

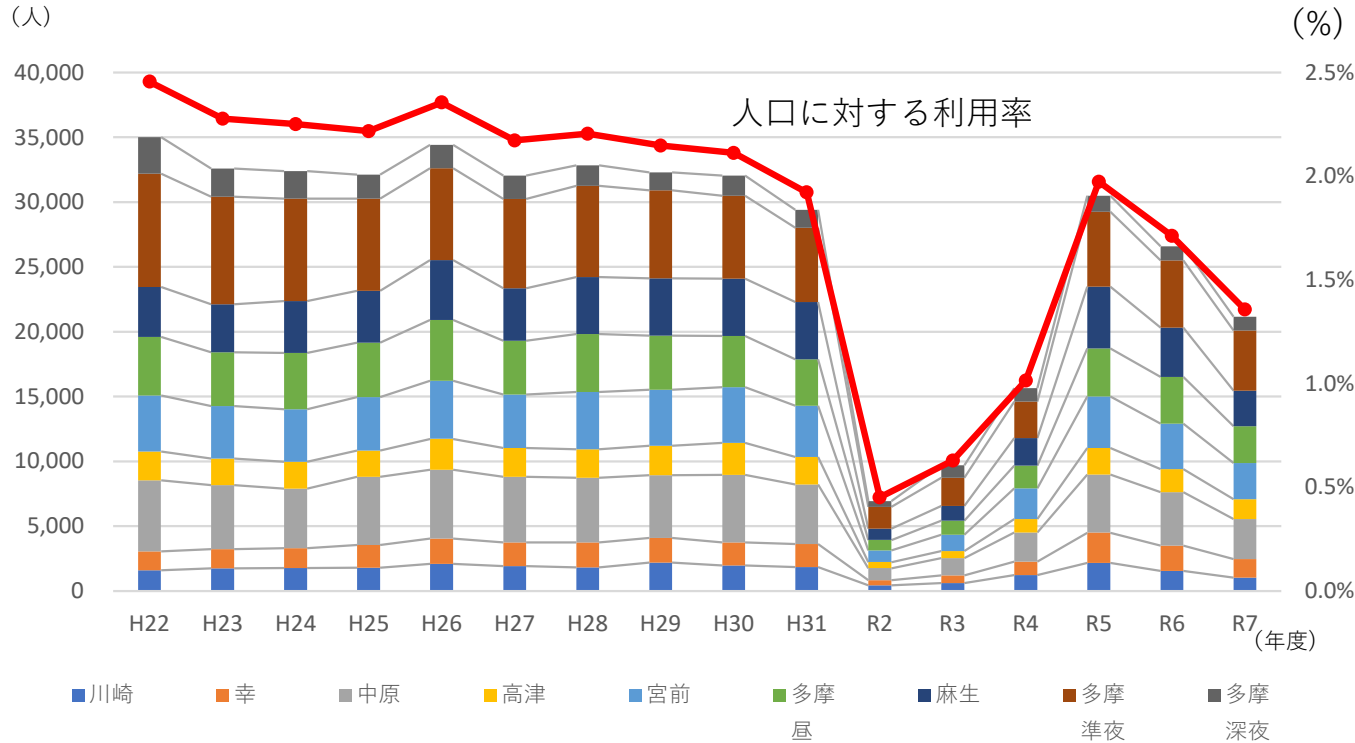
※築年数は令和7年度末時点

(2)休日(夜間)急患診療所の役割・機能

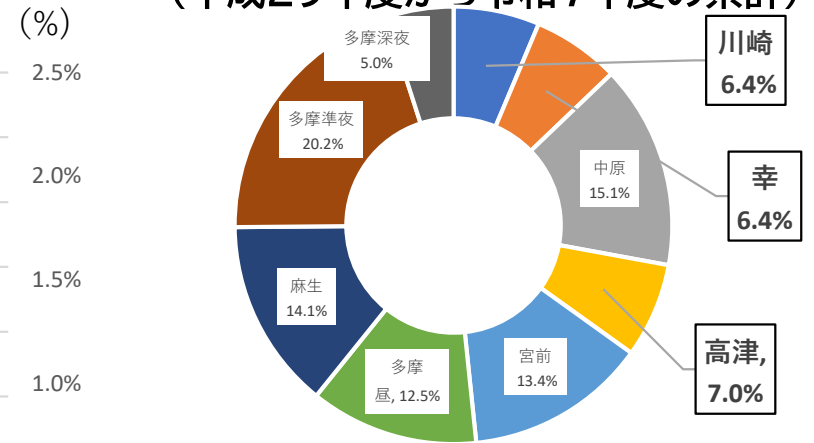
- 休日(夜間)における、内科及び小児科の初期救急医療を担う要となる施設です。
- 休日急患診療所を受診した、より精密な検査が必要な方や重症の方は、あらかじめ定められた二次救急病院等に紹介を行うなど体制を構築することにより、利用者の安全を確保しています。(二次救急医療へ繋ぐトリアージ施設)
- 休日急患診療所は、平日には市がん検診の専門医による二次読影や心臓病検診など地域医療に資する活動で活用されているほか、災害時には川崎市医師会の医療救護活動拠点として位置づけられています。

2 休日(夜間)急患診療所の現状と取り巻く環境

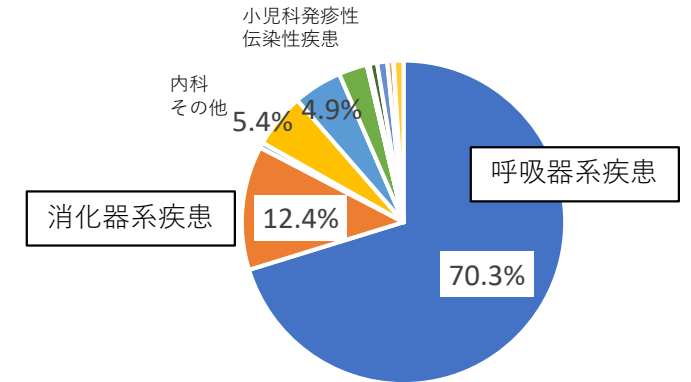
(1)利用者数(平成22年度から令和7年実績)



(3)診療所別割合(平成29年度から令和7年度の累計)



(4)疾患別利用者割合(令和6年度実績)



(2)来院手段別利用者割合(令和6年度実績)

来院手段	川崎	幸	中原	高津	宮前	麻生	多摩
徒歩・自転車のみ	38.3%	37.7%	40.8%	43.5%	13.9%	21.0%	17.8%
自家用車	39.9%	39.0%	33.7%	38.4%	68.2%	62.2%	60.7%
タクシー	11.7%	13.9%	12.0%	12.5%	11.6%	5.5%	12.0%
バス	7.4%	4.7%	4.5%	0.6%	4.5%	2.7%	1.7%
電車	0.8%	0.0%	7.3%	2.6%	0.1%	7.0%	4.3%
その他	0.5%	1.0%	0.6%	0.8%	1.3%	1.0%	0.9%
未記入	1.4%	3.6%	1.1%	1.6%	0.3%	0.5%	2.5%

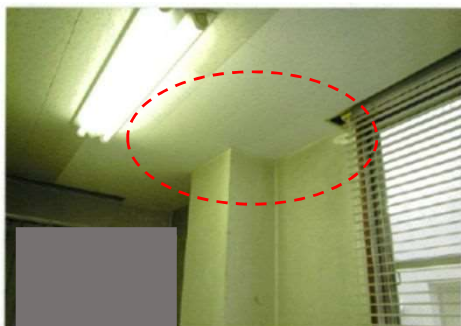
- 利用者数は、コロナ禍で大幅に減少し回復したのち、再び減少傾向となっています。
- 駐車場の台数に関わらず、自家用車での来院が多い傾向にあります。
- 診療所別の利用者数の累計では、川崎、幸、高津診療所が他の診療所の半数程度となっています。
- 疾患別では、インフルエンザなどの感染症をはじめとした呼吸器系疾患等の初期診療を中心に行っています。

2 休日(夜間)急患診療所の現状と取り巻く環境

(5)老朽化の状況

○主な工事の実施実績

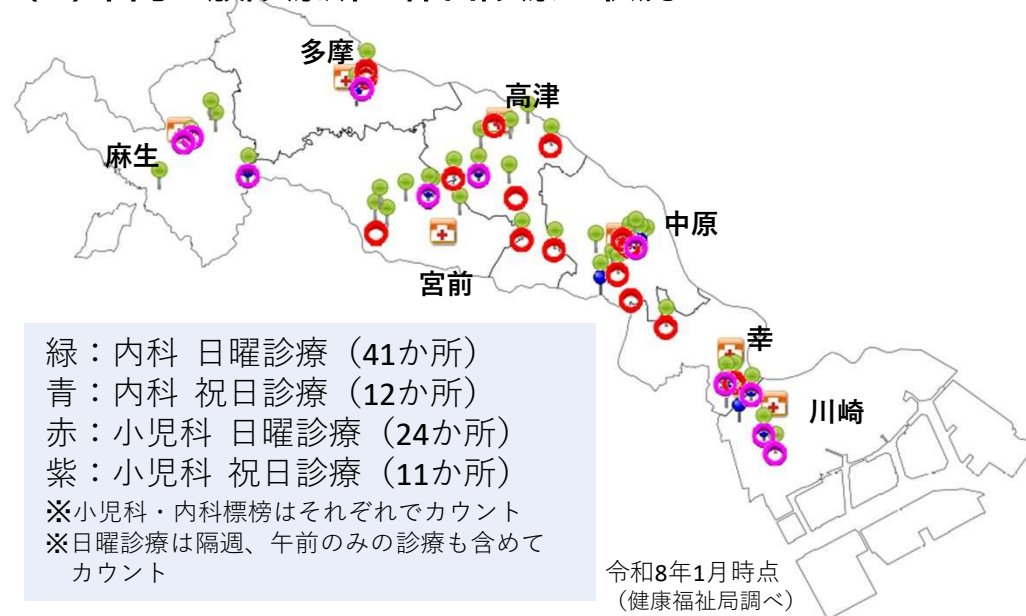
年度	診療所	内容
R4	多摩・川崎	空調改修工事
R5	川崎	トイレ排水管補修等工事
	麻生	外部階段手摺工事
R6	高津	換気扇フード工事
	多摩	空調改修工事(長寿命化)
R7	川崎	屋上冷却塔補修工事
	幸	天井タイル交換



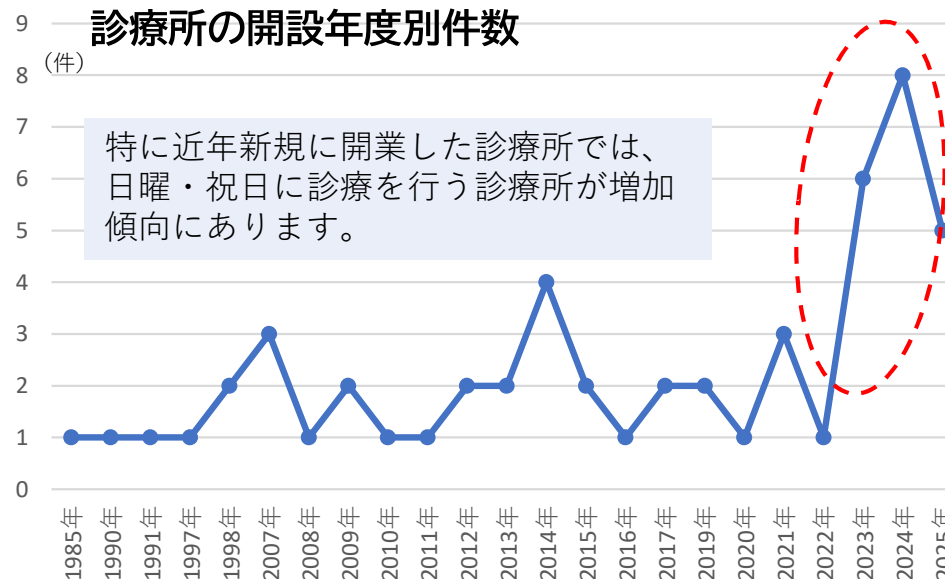
▲ 幸休日急患診療所天井工事

- 川崎、幸、高津、宮前、麻生の各休日急患診療所には、昭和50年代の初頭から建設された施設です。
- これまで、耐震改修工事や空調改修工事など、必要な対応を実施してきました。
- 築年数が50年に近づいている施設もあり、今後も継続した対応が必要な状況です。

(6)市内一般診療所の休日診療の状況



(7)内科または小児科標榜で、休日診療を行っている診療所の開設年度別件数



令和8年1月時点

3 休日(夜間)急患診療所に係る課題と今後の方向性

課題①:休日急患診療所に必要な機能について

呼吸器系疾患などの初期救急診療を行っていますが、医療を取り巻く環境の変化を踏まえ、必要な機能を整理する必要があります。

○利用者数は減少し、休日診療の一般診療所も増加傾向にあります。インフルエンザなど呼吸器感染症などの患者が予約なく休日に受診できる初期救急医療機関としての役割は継続しており、初期救急医療機能を今後も確保する必要があります。
○二次救急医療機関への連携機能を継続することで、利用者の安全を確保することが重要です。
○平時には地域医療に資する活用、災害時には医療救護所活動を行う際の拠点となる可能性があることから、医療活動の拠点的機能は確保していく必要があります。

全体方針

○患者の受療行動の変化、近隣の医療機関の休日診療の状況、医師の働き方改革など、休日急患診療所を取り巻く環境が年々変化する中においても、引き続き‘市民の安心・安全’に資するよう休日・夜間における初期救急を担う施設、並びに二次救急医療へ繋ぐトリアージ施設として、公的診療所の役割を果たしていく必要がある。

課題②:効率的・効果的な運営について

利用者数の減少や医療従事者の確保など、効率的・効果的な運営が求められています。

○効率的・効果的な運営手法として、一般診療所による輪番制や、休日急患診療所どうしによる輪番制は、各診療所の環境の違いや、広報手法など課題が多く、現時点では実施が難しいものと考えています。一方、利用者数の減少や医療従事者の負担軽減等の観点から、効率化を検討する必要はあり、引き続き今後様々な可能性について検討していく必要があります。
○資産マネジメントや効率的な運営を行う観点から、移転を検討する際には、他施設との複合化を含め検討していく必要があります。

○川崎、幸、高津、宮前、麻生の各診療所については、老朽化が進んでいることから、老朽化対策を行いながら、駐車場等が確保できるなど利便性がよい相応しい候補地が生じた場合は、移転等についても検討していく必要がある。

課題③:施設の老朽化

築年数も50年に近づき、継続した対応が必要です。また、建替えや大規模な改修、移転なども含めた老朽化対策の検討を行う必要があります。

○既存施設については、機能を維持するため継続した老朽化対策を実施する必要があります。
○大規模改修や、現地建替えでは、アクセスの課題解決にはつながらないため、老朽化対策としての移転も考えていくことが必要です。
○資産マネジメントや効率的な運営を行う観点から、移転を検討する際には、他施設との複合化を含め検討していく必要があります。(再掲)
○市民の利便性を確保する観点から、移転を検討する際には、一定程度駐車場を確保できることが重要です。

○その際には、利用実績や地域における救急医療体制等を踏まえるとともに、医療従事者の負担軽減の観点から、再編複合化や輪番制なども含めて、より効率的で効果的な運営手法について検討を行う。

○再編複合化等を検討する際には、当該診療所に位置付けられている「災害時における医療救護活動拠点機能」や、がん検診の画像読影会等の実施場所などの機能の確保策について検討する。

4 休日(夜間)急患診療所の今後の方向性に係る全体方針(案)

○当該診療所の必要性

患者の受療行動の変化、近隣の医療機関の休日診療の状況、医師の働き方改革など、**休日急患診療所を取り巻く環境が年々変化する中においても**、引き続き‘市民の安心・安全’に資するよう休日・夜間における**初期救急を担う施設**、並びに**二次救急医療へ繋ぐトリアージ施設**として、**公的診療所の役割を果たしていく必要**がある。

○老朽化対策

川崎、幸、高津、宮前、麻生の各診療所については、老朽化が進んでいることから、**老朽化対策を行いながら**、駐車場等が確保できるなど**利便性がよい相応しい候補地**が生じた場合は、**移転等についても検討**していく必要がある。

○効率的かつ効果的な運営の確保

その際には、**利用実績や地域における救急医療体制等**を踏まえるとともに、**医療従事者の負担軽減**の観点から、**再編複合化や輪番制**なども含めて、より**効率的で効果的な運営手法について検討**を行う。

○医療活動拠点機能の確保

再編複合化等を検討する際には、当該診療所に位置付けられている「**災害時における医療救護活動拠点機能**」や、がん検診の画像読影会等の実施場所などの**機能の確保策について検討**する。

引き続き、上記の全体方針(案)を踏まえ、川崎市医師会と連携して休日(夜間)急患診療所の運営を安定的に行うとともに、それを支援することで、市民の休日(夜間)における初期救急医療を確保します。